



学校だより 6 月

令和 3 年 5 月 3 1 日
豊島区立南池袋小学校
校長 宮澤 晴彦

学校の教育目標

共に生き 共に輝こう

～豊かな学びとやさしい心、元気いっぱい夢にチャレンジ～

「リーダー・イン・ミー 7つの習慣」の導入

校長 宮澤 晴彦

本校では、「共に生き、共に輝こう」の教育目標の具現化に向けて様々な取組を行ってきていますが、今年度から導入する取組の一つに「リーダー・イン・ミー」があります。この「リーダー・イン・ミー」とは、21世紀に生きる子供たちのために必要とされるスキルを育むための教育プログラムで、ステイブ・R・コービー博士（米）が提唱した「7つの習慣」に基づいています。このプログラムは、「すべての子供たちは、自分自身に強み・個性をもち、リーダーになる可能性を秘めている」ということを大前提として設計されています。ここでいうリーダーとは、みんなの代表者としてのリーダーではなく、自分のことを自分で決められる「自分自身のリーダー」を意味します。本校では、このプログラムを導入し、学年の発達段階に応じて取り組むとともに高学年がその牽引役となって下学年によさを伝えながら「共に生き、共に輝こう」の教育目標の実現を児童自らが目指していくことを大切にしていきます。

～変化の激しい時代を生き抜くためのリーダーシップスキルと協働する力～

昨年度からスタートした新学習指導要領。その中核となっているのが「主体的・対話的で深い学び」です。AIの過速的な進化によりこれまで以上に変化の激しい時代の中で、一人一人が持続可能な社会の担い手として活躍するためには、自ら考え、行動し、発信する力をこれまで以上に大切にしていかなければなりません。具体的には、一定の知識・技能の習得のみならず、目標設定と問題解決力、コミュニケーション力、率先力、自己管理能力などのリーダーシップスキルとともに他者と協働して新たなものを生み出していく力を身に付けて行くことを重視します。そして、これらのスキルを7つの習慣として「リーダー・イン・ミー」のプログラムに位置付け、様々な学習活動に取り込んでいくのです。

今後7つの習慣を子供たちに分かりやすく伝え、自ら取り組めるように各教科等の学習活動（話し合いや協同活動）及び各行事の中で活用し、自分自身のリーダーとしての力を高めていきます。

6月は、「信頼貯金」（信頼される行動）の取組として「互いのよ

さ」の伝え合いからスタートします。もしもご家庭で、子供たちからリーダー・イン・ミーの話が出てきましたら、じっくりと聞いて（傾聴）認めてください。この取組につきましては、今後、本校の推進委員会から継続的にお伝えしてまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

第1の習慣……「自分で考えて行動する。自分に責任をもつ。」

第2の習慣……「ゴールを決めてから始める。計画を立てる。」

第3の習慣……「大事なことから今すぐに。」

第4の習慣……「Win-Winを考える。みんながハッピー。」

第5の習慣……「わかってあげてから、わかってもらう。」

第6の習慣……「力を合わせる。みんなで考えた方がうまくいく。」

第7の習慣……「自分をみがく。成長し続ける。」

緊急事態宣言の延長への対応について

6月20日まで緊急事態宣言が延長されたことに伴う、各種行事等の実施の可否につきましては、裏面に掲載いたしましたのでご覧下さい。子供たちの安心安全と学びを止めないために可能な限り柔軟に対応してまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくをお願いいたします。